

病児だより 冬号

11月に入り、全国的にインフルエンザの罹患率が増え、大流行しています。お子様がかかると肺炎やインフルエンザ脳症、熱性けいれんなどの重篤な合併症をひきおこすリスクもあります。お子様が安心して過ごせるようご家庭と連携してインフルエンザの予防に努めていきたいですね。

インフルエンザ

●どんな病気？

インフルエンザウイルスによって引き起こされる呼吸器感染症です。11月から3月ごろまで流行します。



●どんな症状？どんな治療？

急激な発熱(38度以上の高熱3～5日間)・のどの痛み・咳・鼻水・下痢・頭痛・関節痛がみられます。高熱に対する解熱剤はアセトアミノフェンのみ処方されます。抗ウイルス剤を使用する場合は、飲み薬と吸入薬、点滴の3種類があり使い分けます。ただし、ウイルスの増殖を抑える薬なので、どの薬も症状が出てから48時間以内に使用する必要があります。



●登園基準は？

発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで。

お知らせ

12月 事前登録会

- 12月20日(土)
10:00～



QRコードから参加申し込みをお願いいたします



職員による代理診察ってなに？



当園の特色である、職員による代理受診をご紹介します。

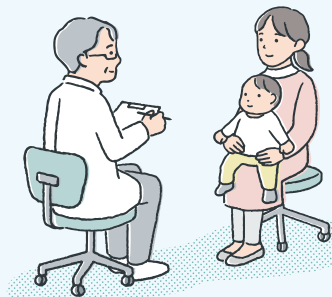
医師連絡票がない場合は、「保護者付き添い受診」か「職員代理受診」が必要となります。

「職員の代理受診」とは

お仕事などの都合で診察に付き添えないご家族の代わりに、看護師または保育士が小児科の受診に付き添うシステムです。

現在利用者の約90%の方が「職員の代理受診」を選択されています。

- ① 病児保育園登園の際に提出頂く病状シートへお子さんの様子を詳細にご記入ください
- ② 9時以降 小児科外来で職員が付き添い、代理受診を行います
- ③ 代理診察では医師の判断に応じて検査を行う場合があります
- ④ 診察後、お薬が処方されれば服用を開始します
- ⑤ 診察内容はお迎えの際に職員よりお伝えします



病児保育園利用時の受付場所を変更し、便利になりました！

変更前) 医誠会国際総合病院 救急外来



変更後) さくら病児・病後児保育園



利用当日に診察(代理受診含む)を受けられる方は直接病児保育園へお越しください